



スクラム

柳井市立小田小学校

学校だより第630号

校長 浅海 範明

いろいろな場面で見られる、生き生きとした子どもたちの姿

～自信をもって活動する姿を頼もしく思います。～



さざみん委員会のリードで元気な声が響きます。

小田小学校の一日は、元気なかけ声から始まります。これは、さざみん委員会の子どものリードで「チャレンジ目標」を唱和している声です。「さわやかなあいさつ、自分から行動、進んで学ぶ」。この朝のかけ声で、学校生活のスイッチが入る気がします。

運動会するときにも感じたことですが、思い切って声が出せるというのは自信や安心感の表れだと思います。先月号で6年生の自己肯定感の高さについてお話ししましたが、どの学年の児童をみてもそのことを感じます。



敬老会でのパフォーマンス、お見事でした。

先日の敬老会における 1～3年生の

パフォーマンスも、大きな会場での一発勝負にもかかわらず、物怖じすることなく堂々と演技していました。また、9月20日には、本校にて柳井市内の先生方が研修を行う「克己堂」公開授業研究会が行われ、2年生の教室は30人近くの参観者であられましたが、そんな雰囲気の中でのびのびと自分の意見を発表する子どもたちの姿が印象的でした。



2年生の食育の授業には、市内からたくさんの先生方がいらっしやいました。

このように生き生きと活動できる子どもたちの素地を作っているのが、各家庭での声かけであり、この地域の温かさであると考えています。本校は多くの学校応援団の方々や見守り隊の方々のお陰をもちまして、子どもたちがたくさんのお大人とふれあう機会があります。より多くの人と出会い、心温まるコミュニケーションをもつことで、人に対する安心感が高まり、それが自信をもって活動できることにつながっているのだと思います。

学校応援団の紹介や、見守り隊の方々との対面式の様子です、心温まるコミュニケーションを通して、子どもたちの自己肯定感が高まっています。



柳井中学校区しらかベネット
育てたい子ども像

ふるさとを思い 未来を拓く しらかべっ子